

令和元年度 事業報告

2019年5月1日に30年余り続いた「平成」は幕を閉じ、「令和」に改元された。

令和元年度は、度重なる自然災害に見舞われた年でもある。9月には、台風 15 号が千葉県を中心に暴風による住宅被害が発生した。また10月には、台風 19 号が伊豆半島から関東地方を通過したことにより、記録的な大雨となり、河川の氾濫による大規模な浸水が発生し甚大な被害となった。埼玉県内でも、川越市、坂戸市、東松山市、吉見町等で住宅への浸水被害が発生した。

林業・木材産業関連では、成熟しつつある森林資源の循環利用を通じて、国産材の安定供給体制の構築と新たな木材利用の創出を図りながら林業・木材産業の成長産業化を目指した。

令和元年 11 月に高知県で開催された「第 54 回全国木材産業振興大会」において、「次世代へつなぐウッドファースト社会を目指して」をスローガンに、都市部等での木材利用の大幅な拡大に向けての法律・制度の見直し、森林資源の循環利用を実現するための森林環境譲与税の活用、品質・性能の確かな木材供給や人材を育成・確保するための取り組みを行うことなどを宣言した決議を採択した。

また、令和元年度には、国立競技場、有明体操競技場、ビレッジプラザなど、国産の木材をふんだんに使った施設が完成した年でもある。

令和 2 年に入ると、新型コロナウイルス感染症が日本をはじめ全世界に広がり、林業・木材産業への甚大なる影響が出始めている。

以下、令和元(2019)年度埼玉県木材協会の事業報告をする。

これらの事業を進めるにあたっては、埼玉県をはじめ関係団体等の格別のご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

I 温暖化防止・地域活性化に貢献する木材利用の推進

県産材の利用に大きな追い風が吹く中、地球温暖化防止、地域創生、人々の健康的な暮らしに不可欠な木材利用について、積極的な普及活動等に取り組んだ。

1 消費者、需要者への普及活動

(1) 普及活動事業(木とのふれあいまつり)

「木とのふれあいまつり」を開催し、多くの県民が木材や木製品との触れ合いを通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めることにより、木材の利用拡大を図るため、県産木材の展示、木工工作、模擬上棟、丸太切り体験、木製ジャングルジム体験や木材アドバイザーによる森林整備から木材利用までのパネル展示・解説をした。

開催日	開催場所	参加人数
令和元年8月24日	丸宇木材市売(株) 北浜市場	578名
令和元年10月6日	東京新宿木材市場(株) 埼玉センター	1,000名
令和元年10月26日	(株)東京木材相互市場 相互吹上市場	1,000名

(2) 木材利用に関する教育活動(木育)の推進

ア 木づかい教室

「木とのふれあいまつり」の会場にて、埼玉大学教育学部の浅田教授及び学生、木育指導員による「木づかい教室」を開催し、子供やその保護者に木と触れ、木の良さを実感させた。

イ 林材会館内に設置した木育ひろば(Woods ON)の運営を支援

埼玉県林材会館の4階にある木育広場「Woods ON」では、埼玉県産材のスギをふんだんに使った空間で、0～2歳の乳幼児と保護者を対象に木育活動を実施した。木と触れ合うことは、子供の五感に働きかけ、感性豊かな発達を促すものと考えられる。

令和元年度実績は、毎週月曜日と木曜日(9時30分から15時30分)及び特別開設を含め全80回、1,769名の方が利用した。なお、3月から新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開設を中止している。

ウ 令和元年度第42回埼玉県児童・生徒木工工作コンクール

埼玉県木材青壮年連合会の協力のもと、埼玉県内の小・中学校及び特別支援学校の児童・生徒が作製した木工工作を募集し、「第42回埼玉県児童・生徒木工工作コンクール」を実施した。応募件数は、77件。

審査は、書類選考による一次審査の後、令和元年10月26日に(株)東京木材相互市場相互吹上市場において作品現物による二次審査を実施した。

審査の結果、埼玉県知事賞2点、埼玉県教育長賞1点、埼玉県木材協会会長賞10点、日本木材青壮年団体連合会長賞2点、埼玉県木材青壮年連合会長賞20点、(株)東京木材相互市場社長賞1点、相互市場栄和会理事長賞1点が授与された。

なお、優秀作品2点を日本木材青壮年団体連合会が主催する「全国児童・生徒木工工作コンクール」に出品した。

(3) 木の講座(「埼玉県木材協会の森づくり活動」の実施、講座の開催)

令和元年6月8日、毛呂山町葛貫地内で新たに土地所有者(薬王寺)と木材協会が契約した「埼玉県木材協会毛呂山町葛貫の森」において、会員60名と地元関係者により、森づくり活動を実施した。

2 地球温暖化防止対策としての木材利用

(1) 木質バイオマス利用等の推進

認定事業者に対し、林野庁の「木質バイオマスの証明のためのガイドライン」に基づき、指導した。

II 住空間、街づくりへの総合的な木材利用の取り組み

1 住空間への取り組み

(1) 木造住宅等の取り組み

ア 「埼玉の木みんなを使って豊かな暮らし応援事業」(彩の木補助事業)

平成26年度から事業を開始し以来6年目となる住宅補助「埼玉の木みんなを使って豊かな暮らし応援事業」(彩の木補助事業)を実施した。

令和元年度は、さいたま市をはじめ43市町村で新築175件、内装木質化8件など192件に総額43,345千円を交付した。

また、優良材の柱がある和室やあらわしの梁、桁を使った場合に補助総額の範囲内で62件に5万円を加算した。

イ JAS構造材利用拡大事業

平成30年度補正予算「木材製品の消費拡大対策事業」のうち、「JAS構造材利用促進事業」、平成31年度予算「JAS構造材活用事業者拡大事業及びJAS構造材実証支援事業」に取り組んだ。説明会の開催7回、木とのふれあいまつり、各地産業祭、モクコレ等で事業説明を実施した。実証支援事業2件補助。

ウ 外構部の木質化支援事業

木塀(22件)ウッドデッキ(9件)、木製遊具(1件)計32件に補助した。

(2) 建築関係諸制度への対応

建築基準法に適切に対応するため、JAS製材品、乾燥材の生産、供給の促進に取り組んだ。

(3) 建築関係者との連携促進等

埼玉県木造公共施設推進協議会の活動を通じ、建築・設計関係団体等の連携強化に取り組んだ。

(ア) 中大規模木造建築 地域を育て培うプロ養成講座の開講

中大規模木造建築物設計・施工管理の担い手となる技術者が不足している現状を踏まえ、埼玉県中大規模木造建築技術者講習会を4月から毎月1回のペースで計5回を開催した。受講生48名。なお、当年度から県の補助事業を受け、地方公共団体の職員への参加を促した。(18名受講)

(イ) 「埼玉県木造建築技術アドバイザー制度」の受託実施

公共建築物の木造化・木質化に取り組もうとする市町村等に、技術的助言や情報提供をする事業を受託した。

市町村の支援 4市町、木材情報収集(素材生産者、製材、プレカット事業者)モデル建築プラン(1件)、事例集の作成

III 木材産業の再興に向けた取り組み

1 木材産業の経営安定化への取り組み

(1) 共済事業の拡充(埼玉県木材協同組合事業への支援)

ア 中型グループ保険

イ 総合保障制度等(総合保障プラン、大型保障制度、総合保障プランLタイプ)

ウ 総合賠償補償制度(木材PL共済制度及び施設賠償共済制度を包括)

エ 任意労災補償制度

(2)労働安全対策等

埼玉県林業・木材製造業労働災害防止協会活動との連携を図りながら、木材・木製品製造業のゼロ災・労働安全の確保活動に積極的に取り組んだ。

IV 安全・安心の木材利用・供給の推進

1 品質の確かな木材製品、認証木材の普及

品質性能の明確な木材製品や産地等の証明のある木材へのニーズの高まりに対応して、JAS製材品の利用・供給並びに合法証明木材の供給体制整備を促進した。

(1)JAS制度、JAS木材製品の利用・供給の促進

ア 当協会は、第三者検査機関として県内3事業体に対して、18回の格付検査を実施し、4事業体に対して全木研の委任事務として監査を実施した。

イ 新たなJAS製材認定工場登録に向け情報提供を行った。

(2)合法木材(クリーンウッド法)の推進

違法伐採対策として、平成18年度から林野庁ガイドラインに基づく合法木材事業者認定を行っている。3月末現在で200件を認定した。

また、平成29年5月に施行されたクリーンウッド法について、説明会を下記のとおり行った。

開催日	開催場所	参加人数
令和元年5月28日	埼玉会館(さいたま市)	40名
令和元年9月20日	埼玉建産連研修センター(さいたま市)	30名

(3)さいたま県産木材認証センターの取り組み

開催日	内 容
令和元年6月25日	第1回理事会
令和元年6月25日	第1回運営委員会(新規0件、更新44件)
令和元年9月27日	第2回運営委員会(新規1件、更新25件)
令和2年3月10日	さいたま県産木材認証事業体研修会 中止

令和2年3月31日現在の認証事業体数238社

令和元年10月に、認証事業体一覧表を改訂した。また、さいたま県産木材販売伝票(57冊)、シール(1,802枚)を販売した。

(4)第56回埼玉県優良木材展示会の開催(会場:吾野原木センター)

令和元年11月20日に、(株)吾野原木センターにおいて第56回埼玉県優良木材展示会を開催し、800口を審査した。埼玉県知事賞2点、一般社団法人全国木材組合連合会会長賞2点、全国木材協同組合連合会会長賞2点、一般社団法人全日本木材市場連盟会長賞2点、一般社団法人埼玉県木材協会会長賞8点を授与した。

V 組織活動の活性化等

1 全国木材組合連合会、全国木材協同組合連合会行事及び会議への参加

開催日	行事名・会議名	開催場所
令和元年5月15日 令和元年5月16日	全木連・全木協連 総会 全木政連・林退共・全木研 総会	メルパルク東京
令和元年10月2日	JAS製材品普及推進展示会	丸宇木材市売
令和元年10月4日	全木連・全木協連 臨時総会	木材会館
令和元年11月1日	令和元年度木材利用推進「全国会議」	木材会館
令和元年11月6日	第54回全国木材産業振興大会	高知県
令和元年2月12日	第9回「新たな木材利用」事例発表会	木材会館
令和元年3月30日	全木連・全木協連臨時総会 中止	木材会館
令和元年3月31日	全木連事務局長会議 中止	木材会館

2 全国木材組合連合会関東支部行事及び会議の開催

開催日	行事名	開催場所
令和2年2月3日	全木連関東支部7県木連(協)会等団体長会議	茨城県水戸市

3 第70回全国植樹祭への参加

令和元年6月2日に愛知県尾張旭市の愛知県森林公園にて『木に託す もり・まち・人の あす・未来』をテーマに第70回全国植樹祭が開催され、当協会から坂東顧問が参加した。

4 第43回全国育樹祭への参加

令和元年12月15日に沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンターにて『うけつごう 豊かな緑と みんなの笑顔』をテーマに第43回全国育樹祭が開催され、当協会から金子副会長が参加した。

5 団体活動の活性化等

(1) 制度・施策の要望活動

全国木材組合連合会、埼玉県林業団体連絡協議会を通じ、国及び埼玉県に対し要望活動を実施した。

(2) 関係団体との連携強化

木材利用促進、木材産業振興のため、森林・林業、建築、中小企業・消費者の関係団体等との連携を図った。

(3) 活動の活性化のための広報活動、施策情報提供の取り組み

ア ホームページの更新及び情報開示

随時、更新に努め、情報提供をした。

イ 「埼玉県木協だより」の発行 年2回 発行

発行日	号数
令和元年6月19日	第59号
令和2年1月 1日	第60号

会員354社及び関係機関に配布した。

ウ 埼玉県主催「2019彩の国 食と農林業ドリームフェスタ」への協力

令和元年11月16日(土)、17日(日)に草加市 まつばら綾瀬川公園で開催された埼玉県主催の「2019彩の国 食と農林業ドリームフェスタ」に出展した。

(4) 埼玉県木材協会 会議等の開催

開催日	会議名	開催場所
令和元年 4月24日	第1回 正副会長・監事・顧問会議	埼玉県林材会館
令和元年 4月24日	第1回 理事・監事・顧問会議	埼玉県林材会館
令和元年 5月24日	第58回一般社団法人埼玉県木材協会通常総会	埼玉会館
令和元年 9月27日	第2回 正副会長・監事・顧問会議	埼玉県林材会館
令和元年 9月27日	第2回 理事・監事・顧問会議	埼玉県林材会館
令和元年12月18日	第3回 正副会長・監事・顧問会議	埼玉県林材会館
令和元年12月18日	第3回 理事・監事・顧問会議	埼玉県林材会館
令和2年 3月19日	第4回 正副会長・監事・顧問会議	埼玉県林材会館

(5) 埼玉県林材会館管理委員会の開催

開催年月日	開催場所
令和元年 6月12日	埼玉県林材会館
令和元年12月16日	埼玉県林材会館

なお、管理事務は、令和元年8月1日から令和2年11月までの間、埼玉県森林組合連合会が行っている。

(6) 各種部会、協議会の開催

木材利用促進、木材産業振興を図るため、部会を運営した。

ア 生産部会 活動実績なし

イ 流通部会

開催年月日	開催場所
令和元年 5月21日	埼玉県林材会館

令和元年度「木とのふれあいまつり」の開催時期、内容について検討した。

ウ プレカット部会 活動実績なし